

新しい青山の、
はじまりはじまり。

2020年6月22日



ネットとリアル融合システム「デジタル・ラボ」、関西エリア初導入

EC在庫1,000万点から選び店で試着、購入後は手ぶらで帰って自宅に配送



デジタル・ラボのご案内イメージ

【概要】

◆導入システム：デジタル・ラボ

<導入店舗：4店舗>

- ・洋服の青山 リンクスウメダ店（大阪市北区）
- ・洋服の青山 心斎橋店（大阪市中央区）
- ・洋服の青山 京都河原町店（京都市中京区）
- ・洋服の青山 三宮店（神戸市中央区）

◆運用開始日：6月24日（水）から順次

青山商事株式会社（本社：広島県福山市／代表取締役社長：青山^{おさむ}理）は、ネットとリアル融合システム「デジタル・ラボ」を、「洋服の青山」の「リンクスウメダ店」・「心斎橋店」・「京都河原町店」・「三宮店」の4店舗に導入し、6月24日（水）から順次運用を開始します。「デジタル・ラボ」の関西エリアへの導入は今回が初めてで、これにより導入店舗数は「洋服の青山」で31店舗となります。

「デジタル・ラボ」は、ネットの豊富な在庫数とリアル店舗の接客サービスの両メリットを最大限に生かしたシステムです。導入店の店内には、当社のECサイトと連動するタッチパネル式の大型サイネージやタブレット端末を複数設置し、来店客はこれらの端末を通して、ECサイト上にある約1,000万点以上の在庫からお好みの商品を選ぶことができます。当社のECサイトは店在庫とも連動しているため、「デジタル・ラボ」の導入店では「洋服の青山」全795店舗にあるすべての在庫を確認することが可能となります。

利用者は店在庫をゲージ見本として試着や採寸を行うため、実際の商品の色柄や着心地などを確認した上で購入することができるのも特徴の一つです。また、商品は自宅に配送となるため、購入後は手ぶらで帰ることができ、後日店に商品を引き取りに行く手間も不要となります。

「デジタル・ラボ」の導入店では、同じ色柄のスーツをサイズ別で保有する必要がなく、限られたスペースで多くの種類を陳列できることから、現在は主に都市部の売場面積100坪未満の狭小店を中心に導入しています。今回の導入店の中でも狭小店である心斎橋店は、これまで通り品揃え不足を補うことを目的に導入します。その他の3店舗（リンクスウメダ店・京都河原町店・三宮店）については、このシステムを導入することでスーツ売場の一部を縮小し、現在強化しているオーダースーツコーナー・ビジカジ商品・レディース商品などを拡充することで、多様化するビジネススタイルに対応した魅力ある売場を目指していきます。

《本件に関するお問い合わせ先》

青山商事株式会社 東京オフィス 広報部 田路(とうじ)、鈴木
〒110-0005 東京都台東区上野 4-5-10 TSC TOWER 7F
TEL:03(5846)5656 MAIL: pr@aoyama-syouji.co.jp

【参考資料】

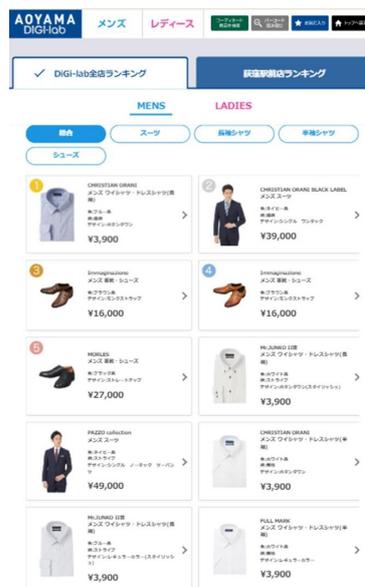
■当社デジタル戦略の主要事業

「デジタル・ラボ」は、都市部を中心とした狭小店の品揃え不足を補うことを目的に2016年に開業し、1号店を秋葉原（東京都千代田区）に出店しました。このシステムは、ネット連携による豊富な品揃えと利便性の高さなどが大きな反響を呼んでおり、現在では当社のデジタル戦略の主要事業の一つとして位置付けています。当社のオムニチャネルの取り組みを具現化した店舗形態として、今後も導入を強化していきます。

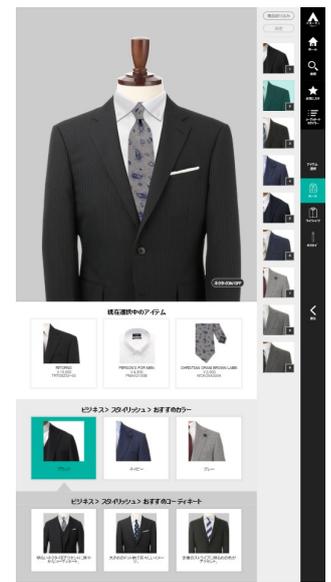
■デジタル・ラボのその他の機能（一例）



デジタル接客



ランキング表示



コーディネート

▽デジタル接客

画面上のキャラクタースタッフがビジネス・就職活動・結婚式といった利用者の着用シーンや、要望のサイズ・モデル・価格帯・色柄などの商品の絞り込みをサポートします。これにより、商品選びをスムーズに行えるほか、購入時の不安感の払拭にもつながります。

▽ランキング表示

「デジタル・ラボ」導入店の人気商品をランキング形式で表示します。ランキングは1～10位までを表示し、情報は日々更新します。全国の順位と店単位での順位の2パターンを見ることができます。数多くある商品の中から人気のものが一目でわかる仕組みとなっています。

▽コーディネート

選んだスーツに合うシャツやネクタイを画面上で自由に組み合わせることで様々なコーディネートを確認できます。ビジネス・就職活動・結婚式といった着用シーンに合わせたシミュレーションも可能です。これにより、具体的な着用イメージがもてるほか、販売員のコーディネート提案にも役立ちます。